



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 晝馬 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 2021年6月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|--------|-------|--------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年9月期第2四半期 | 79,342 | 8.7 | 14,392 | 17.7 | 14,396 | 14.3 | 10,784 | 19.8 |
| 2020年9月期第2四半期 | 72,975 | △1.9 | 12,228 | △12.7 | 12,596 | △12.2 | 9,003 | △17.2 |

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 13,350百万円 (46.2%) 2020年9月期第2四半期 9,133百万円 (3.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年9月期第2四半期 | 69.66 | — |
| 2020年9月期第2四半期 | 58.16 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年9月期第2四半期 | 274,812 | 223,851 | 81.1 |
| 2020年9月期 | 271,615 | 213,515 | 78.3 |

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 222,989百万円 2020年9月期 212,680百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年9月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 2021年9月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 2021年9月期（予想） | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 159,000 | 13.4 | 28,000 | 28.7 | 28,100 | 23.8 | 20,600 | 24.7 | 133.05 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年9月期2Q | 165,041,841株 | 2020年9月期 | 165,027,259株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年9月期2Q | 10,214,141株 | 2020年9月期 | 10,213,977株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年9月期2Q | 154,819,291株 | 2020年9月期2Q | 154,804,031株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について | 3 |
| (3) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化という厳しい状況にありましたが、世界的な半導体関連需要が拡大するなど、一部に持ち直しの動きが見られるなかで推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き新型コロナウイルスの感染防止策を講じた上で事業を行いながら、市場要求に対応した製品開発や当社独自の光技術を活かした研究開発に取り組むことで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は79,342百万円と前年同期に比べ6,366百万円(8.7%)の増加となりました。利益面につきましても、営業利益は14,392百万円と前年同期に比べ2,164百万円(17.7%)の増加、経常利益は14,396百万円と前年同期に比べ1,800百万円(14.3%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,784百万円と前年同期に比べ1,781百万円(19.8%)の増加となり、増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが減少いたしましたものの、PCR検査などの検体検査装置向けの売上げが中国を中心に国内外での需要が高まり増加いたしました。また、産業分野における半導体検査装置向けの売上げも海外を中心に増加いたしました。

イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、歯科用のX線シンチレータの売上げが減少いたしました。しかしながら、産業分野におきまして、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジン及び半導体ウェハ検査装置向けの光源の売上げが、半導体市場の復調を受けて増加いたしました。また、非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げも、基板検査や車載用バッテリー検査向けがアジアを中心に増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は30,013百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は10,263百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、歯科用のフラットパネルセンサの売上げが、新型コロナウイルス感染症の影響からは徐々に復調傾向にあるものの、前年同期比では減少いたしました。一方で、X線CT向けのシリコンフォトダイオードの売上げは、国内外における継続的な需要の増加により好調に推移いたしました。また、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げが、半導体市場の復調により増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は36,579百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は9,846百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、検体検査装置向けのボードカメラの売上げが、北米を中心に増加いたしました。また、半導体故障解析装置も、半導体市場の復調を背景に、アジア及び欧州を中心に売上げが増加いたしました。さらに、遠隔病理診断に用いられる病理デジタルスライドスキャナの売上げが、海外における病院間ネットワーク需要の高まりを受けて増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は10,425百万円(前年同期比28.9%増)、営業利益は2,336百万円(前年同期比48.9%増)となりました。

[その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は2,323百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は265百万円(前年同期は営業損失522百万円)となりました。

(2) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について

新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響につきましては、国内外における感染再拡大懸念などの影響は依然として残っているものの、医用バイオ機器及び産業機器を始めとした各業界向けの売上げが順調に回復、増加していることなどから、当初見込みより前倒しして回復に向かっております。

(3) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、未収入金（流動資産その他）が3,727百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が5,623百万円、現金及び預金が2,235百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ5,533百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が減価償却による建物及び構築物の減少などにより2,257百万円減少したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,336百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,197百万円増加し、274,812百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が618百万円増加したものの、設備関係電子記録債務（流動負債その他）が5,274百万円、設備関係未払金（流動負債その他）が3,020百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ6,638百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、厚生年金基金解散損失引当金が503百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ500百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,138百万円減少し、50,961百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が7,689百万円、為替換算調整勘定が2,313百万円それぞれ増加したことなどから、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10,335百万円増加し、223,851百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ6,417百万円増加し、75,191百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は17,944百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金11,450百万円に比べ6,493百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は9,944百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出などによるものであり、前年同期に使用した資金14,706百万円に比べ4,761百万円の支出減となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は3,014百万円となりました。これは主として、配当金の支払額などによるものであり、前年同期に使用した資金3,418百万円に比べ403百万円の支出減となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、当社が事業展開している市場環境と直近の業績動向及び当社グループの業績予測を精査した結果、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として残っているものの、医用バイオ機器及び産業機器を始めとする各業界向けの売上げが順調に回復、増加していること並びに下半期想定為替レートの見直しも踏まえ、2020年11月9日付で公表いたしました連結業績予想を次の通り修正いたします。

なお、連結業績予想の前提となる下半期(2021年4月1日～2021年9月30日)の為替レートにつきましては、1米ドル=105円、1ユーロ=125円、1中国元=15.5円を想定しております。

通期連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|--------|--------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 145,600 | 22,200 | 22,400 | 16,600 | 107.23 |
| 今回修正予想(B) | 159,000 | 28,000 | 28,100 | 20,600 | 133.05 |
| 増減額(B-A) | 13,400 | 5,800 | 5,700 | 4,000 | — |
| 増減率(%) | 9.2 | 26.1 | 25.4 | 24.1 | — |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 73,763 | 75,999 |
| 受取手形及び売掛金 | 32,220 | 37,844 |
| 有価証券 | 6,634 | 8,664 |
| 商品及び製品 | 11,541 | 9,610 |
| 仕掛品 | 21,609 | 22,949 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,362 | 9,922 |
| その他 | 7,316 | 4,012 |
| 貸倒引当金 | △155 | △175 |
| 流動資産合計 | 163,293 | 168,827 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 47,092 | 45,967 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,525 | 12,621 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 5,028 | 5,132 |
| 土地 | 16,933 | 17,048 |
| リース資産(純額) | 469 | 406 |
| 使用権資産(純額) | 616 | 632 |
| 建設仮勘定 | 3,674 | 2,275 |
| 有形固定資産合計 | 86,341 | 84,084 |
| 無形固定資産 | | |
| 顧客関連資産 | 1,911 | 1,858 |
| その他 | 3,124 | 3,138 |
| 無形固定資産合計 | 5,035 | 4,996 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,081 | 3,371 |
| 繰延税金資産 | 11,226 | 11,022 |
| その他 | 2,656 | 2,530 |
| 貸倒引当金 | △19 | △19 |
| 投資その他の資産合計 | 16,945 | 16,904 |
| 固定資産合計 | 108,321 | 105,985 |
| 資産合計 | 271,615 | 274,812 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,802 | 6,421 |
| 電子記録債務 | 6,030 | 5,721 |
| 短期借入金 | 1,511 | 1,735 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 69 | 39 |
| 未払法人税等 | 2,664 | 3,184 |
| 賞与引当金 | 4,500 | 4,359 |
| その他 | 20,823 | 13,302 |
| 流動負債合計 | 41,402 | 34,764 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,280 | 6,260 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 503 | — |
| 退職給付に係る負債 | 8,080 | 7,950 |
| その他 | 1,834 | 1,986 |
| 固定負債合計 | 16,697 | 16,197 |
| 負債合計 | 58,100 | 50,961 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 34,964 | 35,008 |
| 資本剰余金 | 34,708 | 34,752 |
| 利益剰余金 | 166,357 | 174,046 |
| 自己株式 | △20,795 | △20,796 |
| 株主資本合計 | 215,234 | 223,010 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 742 | 919 |
| 為替換算調整勘定 | △2,152 | 161 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,144 | △1,101 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,553 | △20 |
| 非支配株主持分 | 834 | 861 |
| 純資産合計 | 213,515 | 223,851 |
| 負債純資産合計 | 271,615 | 274,812 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 72,975 | 79,342 |
| 売上原価 | 36,768 | 40,943 |
| 売上総利益 | 36,207 | 38,398 |
| 販売費及び一般管理費 | 23,979 | 24,006 |
| 営業利益 | 12,228 | 14,392 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 130 | 86 |
| 投資不動産賃貸料 | 42 | 34 |
| 為替差益 | 79 | — |
| 持分法による投資利益 | 22 | — |
| その他 | 214 | 295 |
| 営業外収益合計 | 489 | 415 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28 | 23 |
| 不動産賃貸費用 | 63 | 61 |
| 為替差損 | — | 187 |
| 持分法による投資損失 | — | 87 |
| その他 | 29 | 51 |
| 営業外費用合計 | 121 | 411 |
| 経常利益 | 12,596 | 14,396 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 37 | 7 |
| 投資有価証券売却益 | 1 | 4 |
| 厚生年金基金解散損失引当金戻入額 | — | 164 |
| 特別利益合計 | 39 | 176 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 固定資産除却損 | 7 | 23 |
| 減損損失 | 431 | — |
| 投資有価証券評価損 | 40 | 53 |
| 特別損失合計 | 479 | 76 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,155 | 14,496 |
| 法人税等 | 3,120 | 3,707 |
| 四半期純利益 | 9,035 | 10,788 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 32 | 4 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,003 | 10,784 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 9,035 | 10,788 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △175 | 176 |
| 為替換算調整勘定 | 272 | 2,359 |
| 退職給付に係る調整額 | △5 | 43 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 6 | △16 |
| その他の包括利益合計 | 97 | 2,562 |
| 四半期包括利益 | 9,133 | 13,350 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 9,101 | 13,317 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 32 | 33 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,155 | 14,496 |
| 減価償却費 | 5,857 | 6,533 |
| 減損損失 | 431 | — |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △522 | △159 |
| 受取利息及び受取配当金 | △157 | △112 |
| 支払利息 | 28 | 23 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △22 | 87 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △427 | △4,741 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △2,158 | 1,624 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,047 | △482 |
| その他 | 617 | 3,729 |
| 小計 | 14,756 | 20,999 |
| 利息及び配当金の受取額 | 140 | 112 |
| 利息の支払額 | △28 | △23 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △3,417 | △3,144 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,450 | 17,944 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | 149 | 2,191 |
| 有価証券の取得による支出 | △3,648 | △631 |
| 有価証券の償還による収入 | 652 | 631 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,347 | △11,694 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △313 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △64 |
| その他 | △198 | △376 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △14,706 | △9,944 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △153 | 222 |
| 長期借入金の返済による支出 | △82 | △49 |
| 配当金の支払額 | △3,104 | △3,102 |
| その他 | △77 | △84 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,418 | △3,014 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 90 | 1,432 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △6,582 | 6,417 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 68,521 | 68,773 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 61,938 | 75,191 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|---------|--------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 電子管 | 光半導体 | 画像計測機 器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 27,734 | 34,701 | 8,089 | 70,525 | 2,450 | 72,975 | — | 72,975 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 892 | 517 | 21 | 1,431 | 213 | 1,644 | △1,644 | — |
| 計 | 28,626 | 35,219 | 8,110 | 71,956 | 2,663 | 74,619 | △1,644 | 72,975 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 9,721 | 10,244 | 1,569 | 21,535 | △522 | 21,012 | △8,784 | 12,228 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,784百万円には、セグメント間取引消去△640百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,143百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他(ホテル事業)」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において431百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|---------|--------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 電子管 | 光半導体 | 画像計測機 器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上 高 | 30,013 | 36,579 | 10,425 | 77,018 | 2,323 | 79,342 | — | 79,342 |
| セグメント間の内 部売上高又は振替 高 | 434 | 184 | 6 | 626 | 435 | 1,061 | △1,061 | — |
| 計 | 30,448 | 36,764 | 10,432 | 77,644 | 2,759 | 80,403 | △1,061 | 79,342 |
| セグメント利益 | 10,263 | 9,846 | 2,336 | 22,446 | 265 | 22,712 | △8,320 | 14,392 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,320百万円には、セグメント間取引消去△440百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,879百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。